

第4回子ども・子育て会議（平成26年7月8日）における委員の意見

1.（仮称）高砂市子ども・子育て支援事業計画 骨子案について 資料②

委員名	意見等	事務局回答
○小学校・中学校の不登校等の状況（骨子案P22）		
廣瀬委員	・不登校、いじめの件数が増えている。就学前の教育が大切で、保・幼・小の連携を計画に盛り込んでほしい。	次世代育成支援後期行動計画で取り組んでいる項目です。子ども・子育て支援事業計画においても担当課と調整し、引き続き、取り組んでいきます。
○子どもの育てやすさ（骨子案P29）		
廣瀬委員 筒崎委員	・「公園など子どもの遊び場が少ない」（就学前）、「公園や児童館など子どもの居場所が少ない」（小学生）が最も多い。公園を含め公共施設に対して計画的に充実させてほしい。	次世代育成支援後期行動計画で取り組んでいる項目です。子ども・子育て支援事業計画においても担当課と調整し、引き続き、取り組んでいきます。
筒崎委員	・一時預かりの充実	・現在、保育所7園で実施していますが、平成27年度からは保育所9園で実施する予定です。よりニーズに応えることができるよう事業の充実と周知等についても、今後検討します。

2. 子ども・子育て支援に関する各種事業等の基準案について 資料③

委員名	意見等	事務局回答
○家庭的保育事業等、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準案について		
松田委員	・認可基準に耐震基準を定めては。	設備の基準に関しては国の基準のとおりとしますが、昭和56年以前に完成した建物の場合は耐震上、問題ないものであるかの確認を行い、耐震補強についての指導をします。

○支給認定の基準案について		
小林委員	・保育所の定員に空きがあるのであれば、保育の必要性に関わらず利用できるようにしてほしい。	保育所での保育を希望される場合、新制度で定める基準に従い、保育認定（2号・3号）を受ける必要があります。
○その他		
森田委員	・事業所内保育所等があれば、女性が仕事につきやすいように考える。	子育てしやすい雇用環境の整備について、次世代育成支援後期行動計画で取り組んでいる項目です。子ども・子育て支援事業計画においても担当課と調整し、引き続き、取り組んでいきます。
中司委員	・子育て支援（預かりなど）の制度を使いやすいようにしてほしい。 ・量の確保だけでなく、何が必要とされているかを検討すべき。	・手続き等を含め周知方法について検討し、利用促進を図ります。 ・アンケート調査以外にヒアリング調査を行い、子育てに関するニーズ等を把握し、検討します。

3. 確保の方策について 資料①

委員名	意見等	事務局回答
○子育て短期支援事業		
山本委員	・量の見込みと実績が乖離しすぎている。利用しにくいのでは。	今後の需要動向が不明であるため、提供可能な最大量を記載しています。手続き等を含め周知方法について検討し、利用促進を図ります。
○病児・病後児保育事業		
小林委員	・市民と市民以外の利用者の利用料を同一にする。	事業の連携について、姫路市や加古川市などの近隣市と意見交換を行い調整しています。

○ファミリー・サポート・センター事業		
山本委員	・提供会員の増加を図るため、講習を受けやすくする。	今後の利用促進を図るために提供会員の確保は必須です。受講方法などを検討し、より多くの提供会員の確保に取り組みます。
○利用者支援事業		
松田委員	・北浜町での実施について	現時点では、市庁舎に専任職員を配置し、事業の実施を予定していますが、より円滑に利用者のニーズを把握し、相談や利用支援等を行えるよう今後検討し、事業の充実を図ります。
○その他		
廣瀬委員	幼稚園での3歳児保育を実施する際の試算を示してほしい。	第5回会議にて提示します。
小林委員	・子どもたちに関わる機関が集まって相談する場が必要。学校保健会で中学校・小学校・幼稚園に保育所が加われば組織が繋がる。	中・小・幼・保の交流については、各種事業において取り組んでいます。今後も充実させていきます。
角委員	・夏休み中の学童保育所は朝9時から開所なので、保育所と開所時間を合わせることも検討してほしい。 ・ファミリー・サポート・センター事業について、保護者の細かい要望にもサポートしてほしい。	・学童保育所の開所時間の延長については、今後検討し、実施します。 ・提供会員を増やすことで、ニーズに応じていきたいと考えます。